



梅雨の季節です 風水害に対する備えは万全ですか

六月も半ばに入り、本格的な梅雨の季節となりました。この時期に特有の長雨や、短時間のうちに狭い地域に集中して降る集中豪雨は、河川のはんらん、崖崩れや地すべりなど大きな被害を引き起こします。とはいえ、地震などとは違って襲来時期や規模、被害の程度などを予想できるため、事前の対策次第では被害を最小限に抑えることができます。大雨が近づいてきたら気象情報に十分注意するとともに、いざというときに備えて、家庭はもちろん、地域ぐるみで対策をとるようにしましょう。

大雨や長雨が

予想されるときには…

- ・防災関係の広報を聞き逃さない。テレビやラジオの気象情報に注意する。
- ・河川の水位を観察する。
- ・断水に備えて水のストック、停電のときのために懐中電灯（予備電池を忘れずに）など照明の用意を。
- ・庭やベランダの物干しざお、鉢植えを室内へ。

こんな土地では

早めの避難準備を

■山岳地帯

雨が一番強く降ったときから1時間以内、あるいは3〜4時間後を中心として崖崩れがおきや

すいといわれています。また、土石流の警戒も必要です。

■造成地

水抜き穴から濁り水が出始めたら要注意。

■河川敷

昔、河川敷だった所や、河川の流域は、豪雨によって洪水の危険があります。

現場はそのまま110番

犯罪の被害に遭ったら すぐ届け出を！



ピクニックやアウトドアスポーツなど、外出する機会が多いこの季節は、空き巣などの犯罪が多発する時期です。110番通報があると直ちに警察官が現場に急行し、総力を挙げて捜査していますが、素早く事件を解決するためにも次のことについてご協力をお願いします。

■「事件発生！すぐ110番」

事件発生から警察官の現場到着までの時間が短いほど犯人を捕まえやすいものです。事件を知ったときや被害に遭ったときは、すぐに110番へ。

■「現場はそのまま、まず届け出を」

「被害が少ない」「恥ずかしい」などの理由で被害届けをしないしていると、逆に犯人をかばい、助けることになってしまいます。また、犯人を捕まえる手がかりもあるかも知れませんが、現場には手を触れずそのまま届け出るようにしてください。

お問い合わせ 大館警察署 ☎42-4111

1時間の雨量の目安

— 早めに適切な行動を —



5~10ミリ

雨の音がよく聞こえ、水たまりができる。

20~30ミリ

土砂降りであちまち下水があふれる。



50ミリ以上

バケツをひっくり返したようで、話もよく聞こえない。

100ミリ以上

人の姿が見えないような激しい雨。

